

介護労働者養成機関修了者の追跡調査に関する研究

平成 13 年度報告書

平成 11 年度に実施したアンケート調査対象者 2,137 名のうち 2 年間にわたり追跡できた者は、(1,015 名) 47.5%であった。

これらの者の 59.0%は介護職として就労中である。介護職に就いていたが辞めてしまった者は 10.0%、一度も介護職に就かなかった者は 28.4%であった。介護職に就いていない者の中で、今後介護職として働きたい意向の者がかなりいること等の知見を得て最終報告書を作成した。

研究委員会メンバー

(主 査)安 藤 孝 敏	横浜国立大学教育人間科学部 助教授
(委 員)朝 日 雅 也	埼玉県立大学保健医療福祉学部 講師
野 口 一 重	日本福祉大学経済学部 助教授
林 秀 一	林事務所 代表
小埜寺 直 樹	(株)明治生命 F S 研究所 研究員
(事務局)野 村 雄三郎	(財)雇用開発センター 常務理事
井 上 ナホミ	(財)雇用開発センター 研究調査部長
荒 井 直 子	(財)雇用開発センター 研究調査部研究員

目 次

はじめに

第 1 章 調査の目的

第 2 章 13 年度調査の概要

第 3 章 13 年度調査結果

第 4 章 11・12・13 年度を統合しての考察

第 5 章 平成 13 年度の調査計画

資料編

調査の対象及び内容

(1) 「介護労働者養成機関等修了者の介護労働への就労状況調査」

調査時期 : 平成 13 年 9～12 月

調査対象 : 平成 12 年度調査に回答した 1,328 名

回 収 数 : 1,015 名 (有効回収率 : 76.4%)

(2) ヒアリング調査

調査対象 : アンケート調査回答者の中から、介護労働に就労の者と介護労働から離職した者を選定。

平成 14 年 3 月刊行、A 4 判 73 頁